

オリンピック・パラリンピック・ニュース No20

中野区立江原小学校 オリンピック・パラリンピック教育担当

今年は、1年生だけでなく、6年生もアサガオを育てています。なぜなら、「フラワーレーンプロジェクト」に6年生が参加しているからです。今回はその紹介です。

1 「フラワーレーンプロジェクト」とは、どんなプロジェクトなの？

フラワーレーンプロジェクトとは、東京2020大会の各会場の入口で手荷物検査に並ぶ観客の列（レーン）を、金属などのフェンスではなく、アサガオ（フラワー）の鉢植えを並べることで仕切ろうとする取り組み（プロジェクト）です。子どもたちが育てた約40,000鉢のアサガオに、応援や歓迎の言葉を書いたメッセージを取り付け、観客をもてなします。

2 6年生が育てているアサガオは、どの競技会場に並べられるの？

6年生が育てているアサガオは、全部で120鉢。このアサガオはオリンピックの自転車競技（BMXレーシング・フリースタイル）やスケートボード（ストリート・パーク）が行われる有明アーバンスポーツパーク（江東区有明）に並べられる予定です。

3 オリンピックが終わったら、アサガオはどうなるの？

オリンピック・パラリンピック終了後の9月初旬に、アサガオはまた学校に戻ってくる予定です。



5月12日(水)に種まきをしている様子

自分たちが育てたアサガオが、オリンピックを見に来た人を歓迎するなんて、考えただけでもわくわくしますね。6年生が育てているアサガオは今、第3校庭にあります。元気に育つように、見かけたら声をかけてくださいね。そして、6年生のみなさん、お世話をよろしくお願ひします。

<参考>東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会のホームページ

<https://education.tokyo2020.org/jp/participate/programmes/flowerlaneproject/>